ジャンボ剤で
水口施用ができます！

水口に**ポンッ！**
と投げるだけ
処理時間
大幅短縮！

キマリテ® ジャンボ

水口施用のご紹介

ジャンボ剤の水口施用とは

入水時に水口へジャンボ剤を投げ入れるだけの簡単な施用法です。

商品情報・登録情報は下記リンクからご覧頂けます。

キマリテジャンボ

キマリテジャンボの水口施用について

ジャンボ剤水口施用のメリット

1.入水時に水口に薬剤を処理するだけで散布が終わる
➢ジャンボを投げ込みながら圃場をまわったり、圃場内に入る必要がありません。

2.薬剤散布時間が短くてすむ
➢フロアブルの水口施用と異なり、ボトル洗浄等の手間が必要ありません。
忙しい時期、他の作業に注力できます。

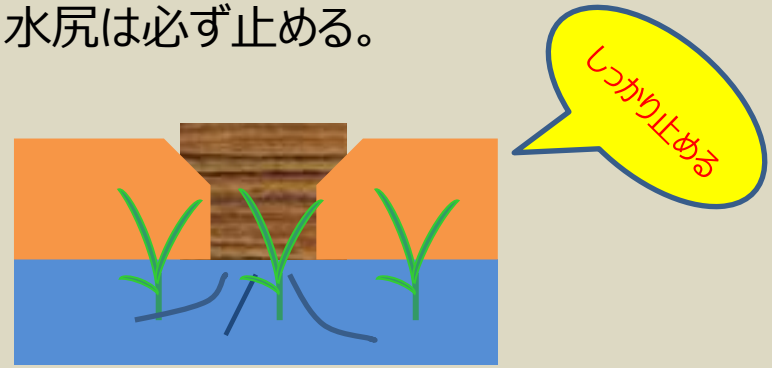
3.廃棄物が少ない
➢ボトルを廃棄する必要があるフロアブルと比較して、廃棄物が少なくてすみます。

ジャンボ剤水口施用の注意点
1.かけ流し(田おとし)の水田では使えません。
2.水口から一定の水量が必要です。

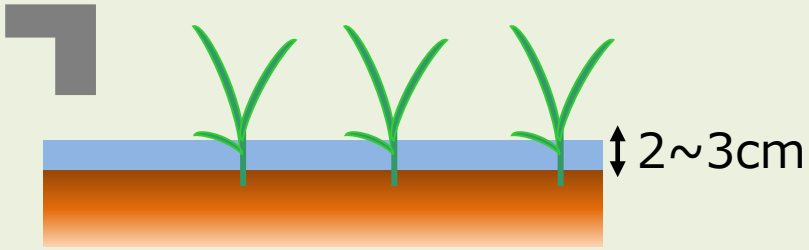
キマリテジャンボの水口施用の上手な使用方法

1.耕起、代かきはていねいに行い田面を均平にする。畦から水が漏れないように畦塗りをしっかりする。

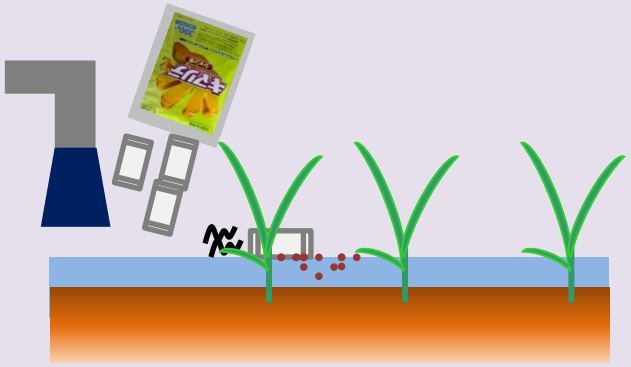
2.水尻は必ず止める。



3.処理前の水口付近はジャンボ剤が座礁しない水深にする。田面は露出させない

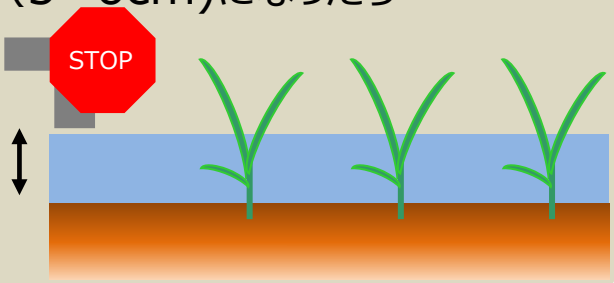


4.入水しながらジャンボ剤を水口に投げいれる



※処理後2～3cm水深をあげるのが目安です

5.通常の湛水深（5~6cm)になったら必ず水を止める。



※処理後7日間は落水、かけ流しはしないでください

※水口が複数箇所ある場合は均等に分散して処理して下さい。
また各水口からの水量をできるだけ同じにしてください。

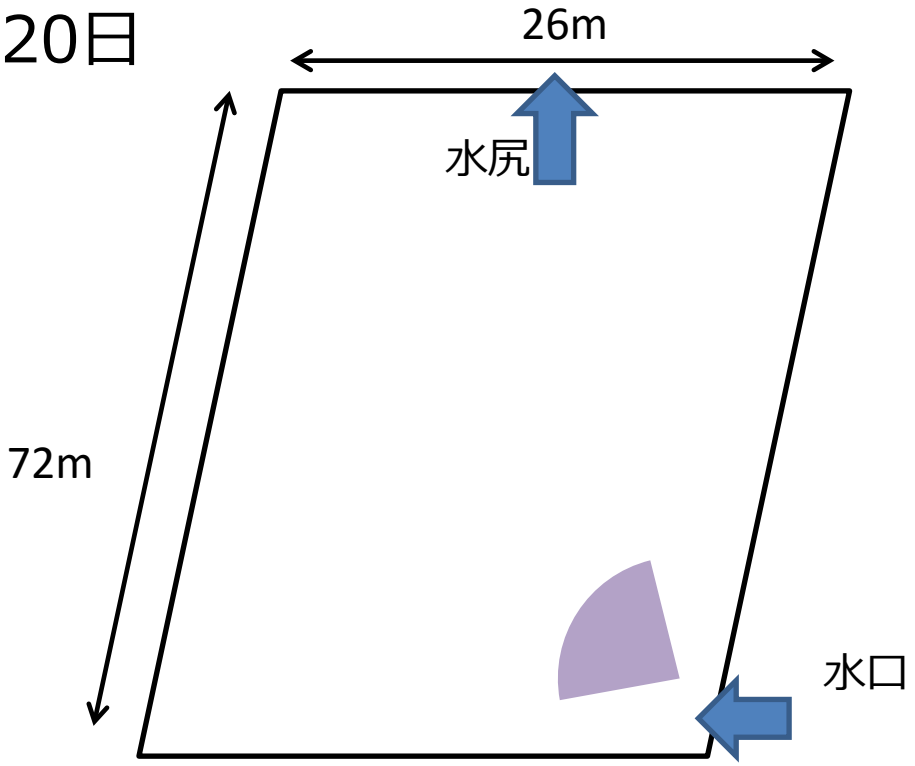
キマリテ® ジャンボ

水口施用の試験事例紹介

試験概要

1)試験地：新潟県新潟市
2)試験規模：72m×26m(1,872m^2)
3)供試薬剤：キマリテジャンボ
4)耕種概要：代かき；2018年5月2日
水稲移植；5月4日
初期剤散布(メテオジャンボ)；5月6日
薬剤処理；5月20日

水口



2018年　北興化学工業株式会社現地試験

水口処理時の様子

1)気象条件・水深など

	時間	水深 (地点名は下記参照)	天気	気温 水温	風向 風速
入水・処理 開始時	AM 5：40	水口付近：2.0cm 水尻付近：5.0cm	曇	気温：11℃ 水温：12℃	南西 1m
入水終了時	AM 9：30	水口付近：5.0cm 水尻付近：7.0cm	晴	気温：18℃ 水温：15℃	南東 2m

※風はわずかに感じられる程度

2)拡散の様子

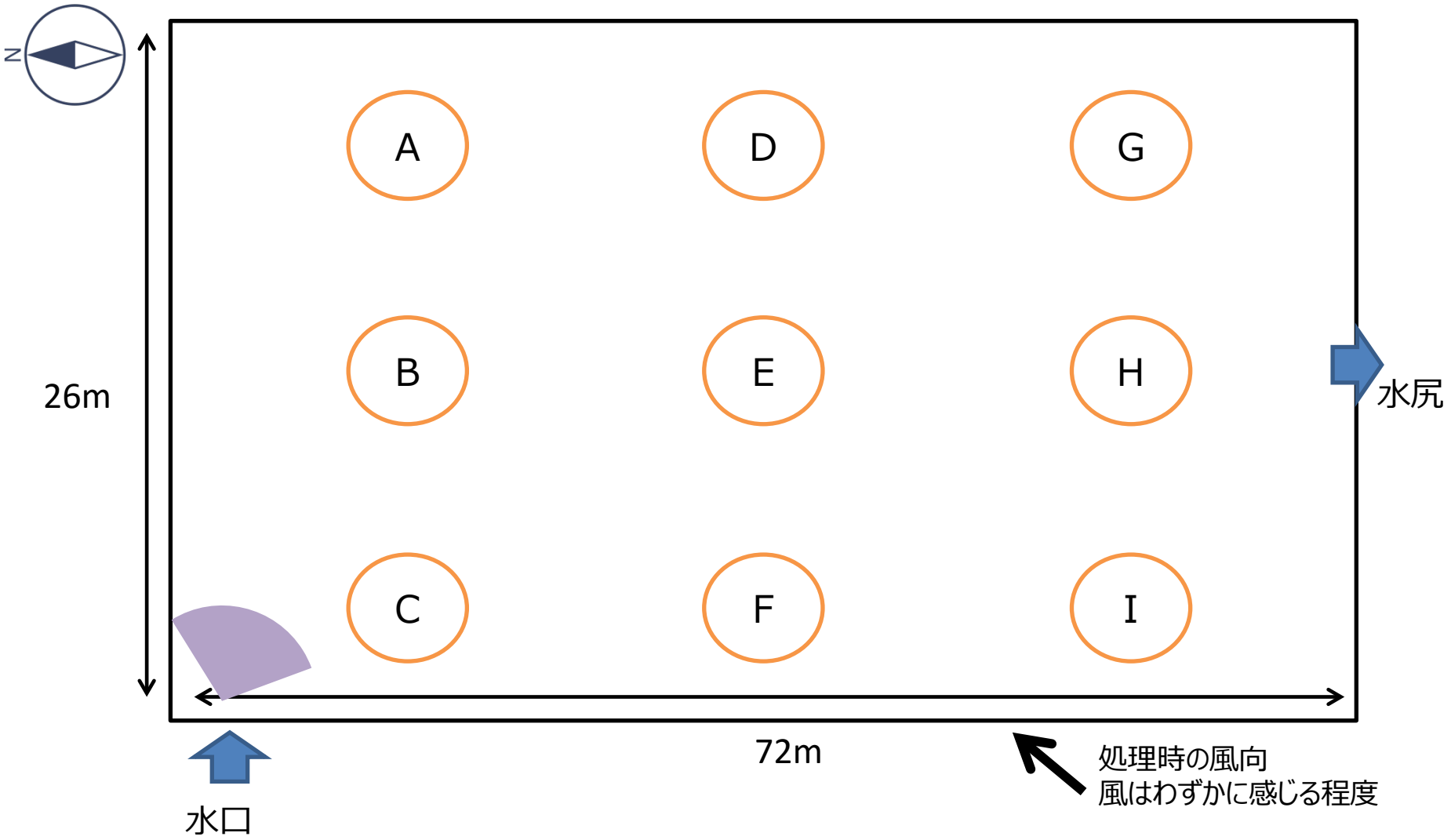
薬剤処理に要した時間は約1分間であった。
パック投入後約20秒でフィルムが溶解し始め、
処理後10分で圃場の半分程度まで
処理後20分で水尻側まで粒の崩壊物が到達した。

3)その他特記事項

処理時に藻類などの障害物はなかった。
少なくとも処理日を含めて3日間は降雨はなかった。

2018年　北興化学工業株式会社現地試験

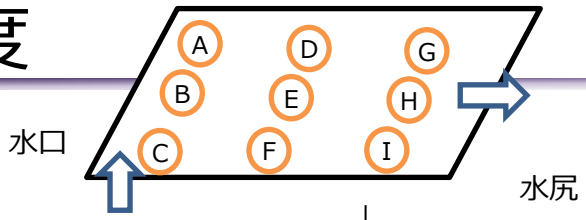
有効成分濃度分析地点

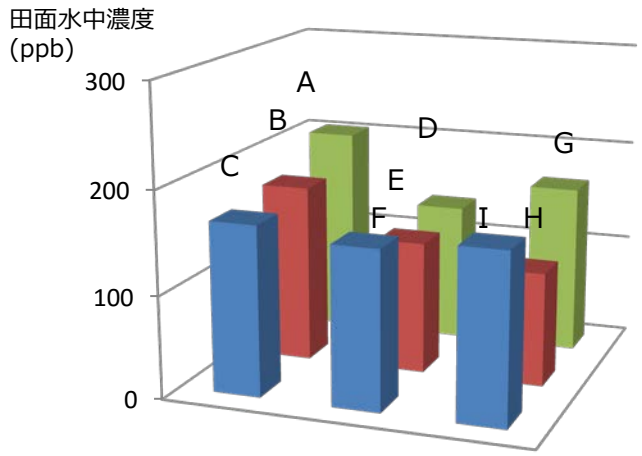
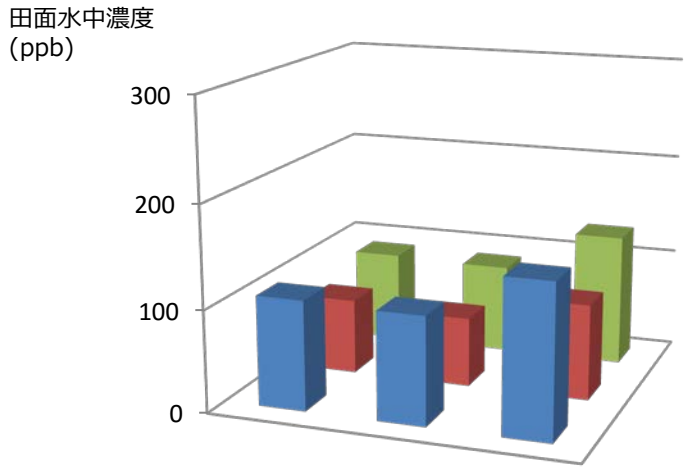
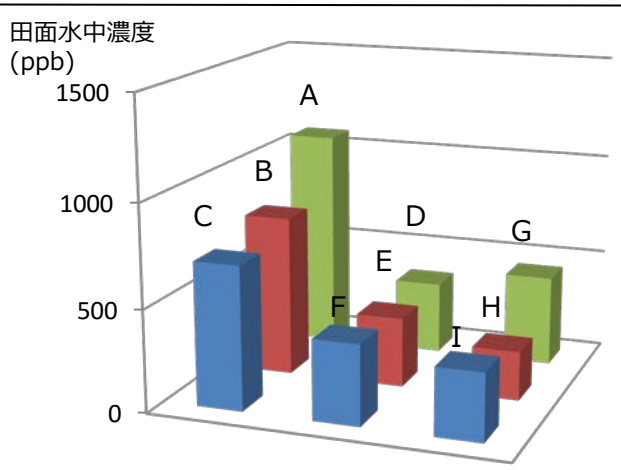
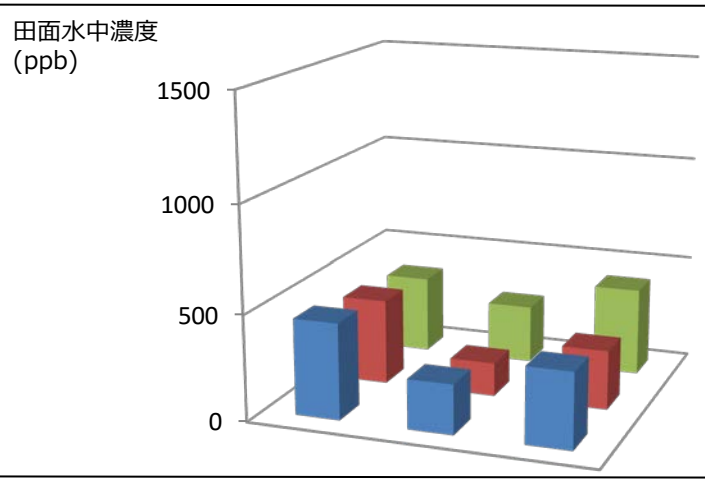


処理6時間後、24時間後、48時間後にA～I地点の田面水を採水し、
有効成分の田面水中濃度を分析。

2018年　北興化学工業株式会社現地試験

有効成分の田面水中濃度

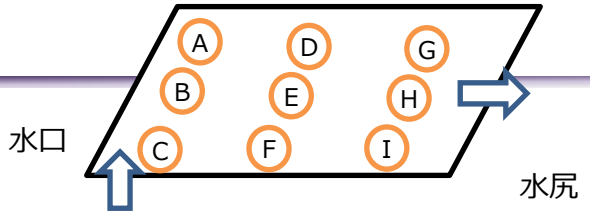


	処理24時間後	処理48時間後
イプフェンカルバゾン		
テフリルトリオン		

➢処理後24～48時間で有効成分は圃場内にほぼ均一に拡散しました。

2018年　北興化学工業株式会社現地試験

除草効果



7月28日(処理69日後)

B地点

E地点

H地点

➢圃場内いずれの地点でも高い除草効果が認められました。
また、薬害の発生はありませんでした。

2018年　北興化学工業株式会社現地試験

商品情報

300ｇ入

900ｇ入

キマリテ® ジャンボ の商品情報・登録情報は右記リンクからご覧頂けます。 キマリテジャンボ

お求めはお近くの JA で